

たい たすけ帯 R型 リハビリ介助用ベルト

介護する方《ヘルパーさんやご家族》の
介護負担の軽減とリスク回避のために
——歩行訓練や立ち上がり補助のための介助ベルト——



サイズ

M～Lサイズ 腰まわり 70～105cm

ゆらくらく介助

腰部と両肢にベルトを通すので体重が分散されるため、
介助者も被介護者もお互いの負担が軽減され、安全に介
助することができます。

たすけ帯R型の特徴

- 1 R型は理学療法士をはじめとした医療・福祉の現場に従事する方々の意
向を受け、研究・開発された商品です。
- 2 足を上げられない座位の状態、ベッドで寝ている状態でも装着ができます。
- 3 持ち手はつかみやすいチューブ入りで、様々な場面に対応できるよう、4
箇所についています。

【従来型からの改良点】

- 1 ヒモを通しやすいように通す間口を広くしました。
- 2 ヒモを通しやすいように先端の形を変更しました。
- 3 つかみやすいチューブ入りの取っ手になりました。

腰まわりとは？



止め方	ヒモで結ぶ
素材	綿100%
色	本体：ネイビー 持ち手：レッド
持ち手	チューブ入り 4ヶ所
持ち手の ゆとり	ゆとり有り とっさの時につかみやすいよう、ゆとりのあ る持ち手になっています。

TAISコード 01365-000002



株式
会社

特殊衣料

〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 14 丁目 2-40
tel.011-663-0761 fax.011-663-0955 <https://tomoni.co.jp>

装着手順

【注意事項】

- 装着時は、必ず安全を確保するようお願いします。
- 状態像によっては、ベッドや椅子等での装着となります。

たい たすけ帯 R型 リハビリ介助用ベルト

～座位の状態、装着する場合～

ホームページで装着手順の動画をご覧くださいませ。▶ <http://www.tomoni.co.jp>

1 横ベルトを前に持ってくる



被介護者の腰の低い位置に【たすけ帯R型】の横ベルトをあて、前に持ってきます。

2 縦ベルトを前に持ってくる



被介護者の体重を介助者に預けるような形で、被介護者の上半身を片側に傾けます。もう片方のお尻が浮くので、お尻の下に縦ベルトを通し、前に持ってきます。もう片方も同じように行います。

3 縦ベルトに横ベルトを通す1



前に持ってきた縦ベルト先端の輪に横ベルトの先を通します。

4 縦ベルトに横ベルトを通す2



もう片方も同じように、縦ベルトの先端の輪に横ベルトを通します。

5 縦ベルトを両サイドに広げる



縦ベルトを股のラインに沿って、Vの字になるように両サイドに広げます。

6 横ベルトを結ぶ



横ベルトを中心にしっかりと結びます。

※ベルトがしっかりととまっているか、お確かめ下さい。

装着完了



前側



後側

たい たすけ帯シリーズ紹介

入浴介助シリーズ ～安心そして安全に入浴介助ができるように考慮し、3タイプをご用意しました～

タイプ	装着のしやすさ	主な介助場面	使用対象となる方
V型 〔帯型〕	○	イスや浴槽での立ち座り	・全介助、半介助が必要な方 ・体型によって、一人での介助が大変な方
P型 〔パンツ型〕	○	イスや浴槽での立ち座り	・全介助、半介助が必要な方 ・体型によって、一人での介助が大変な方
O型 〔ベルト型〕	◎	座位での横移動、立位、歩行介助	・半介助が必要な方 ・立位保持が不安定な方

V型



P型



O型



R型



リハビリ介助シリーズ ～介護する方の負担軽減とリスク回避のために～

リハビリ介助用ベルトR型

取扱注意事項

- 当製品は歩行訓練や立ち上がり補助時等に安全に介助するためのものですので、被介護者の身体状況を把握された方が、医師・専門家とご相談の上、ご使用下さい。
- 装着方法が不適切な場合において、生命・身体に重大な影響を及ぼす恐れがございますので、装着方法を参考にして下さい。
- 本製品に手を加え、加工することは事故の原因となりますので、おやめ下さい。
- 生地がかたいので入浴用には使用しないで下さい。

洗濯方法

- 洗濯機を使用する場合はネットに入れて洗濯して下さい。
- 乾燥機はご使用になれません。
- 塩素系漂白剤・蛍光増白剤の含まれる洗剤は、変色の原因になりますので、ご使用になれません。
- 水に濡れたまま放置しますと、色が移る場合がございますので、ご注意ください。
- 白いものと一緒に洗わないで下さい。